

病床の機能区分について

病院の機能にはそれぞれ専門分野があり、患者の容体に応じて連携して治療を行っている。

高度急性期・急性期	回復期	慢性期
精密検査のほか、救急や重症患者の治療を行う。	在宅復帰を目指すリハビリを中心とした治療を行う。	長期間の療養が必要な患者の治療を行う。

回復期機能は、以下の2種類の病棟に分類される

回復期リハビリテーション病棟	脳梗塞や大腿骨折等の急性期病床から直接自宅に戻ることが難しい患者に対し、在宅復帰を目指すために集中的なリハビリテーションを行う。
地域包括ケア病棟	急性期を脱した患者に対して、最長60日間の入院中に治療やリハビリを通じて在宅復帰支援を行う。また、在宅療養患者の一時的な受入れも担う。